

職員による児童発達支援事業所自己評価表

公表日：2024年9月27日

実施期間：2024年6月3日～6月14日

事業所名：町田市子ども発達センター

対象の職員数：37人

No.	質問内容	回答		工夫している点、課題や改善すべき点など
		はい	いいえ	
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>		定められた基準を満たしています。
	2 職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>		規定以上の職員の配置をしています。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	<input type="radio"/>		療育室を色の名称で示したり、シンボルマークや写真、数字などを使用したりしながら、「見てわかりやすい療育環境づくり」に取り組んでいます。お子さんの発達特性に対して、より適切な支援につながる工夫を継続します。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	<input type="radio"/>		毎日、療育室等の生活空間は清掃と消毒を行い、感染症対策を含めた衛生管理を徹底し、快適に利用できるように努めています。 また、委託業者による全館清掃を定期的実施しています。 その他にも、毎朝、園庭やデゴイチの点検を実施し、週1回の砂場消毒を行うなど安全な療育環境を整えています。また、療育室やプレイルーム、感覚室など、活動に応じた必要なスペースは確保しています。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>		勤務形態が異なる職員間の連携に配慮し、毎朝のミーティングや療育グループごとの打ち合わせ、週1回の係内会議など各種会議を通して、PDCAサイクルを繰り返して行い、業務の継続的な改善に努めています。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>		事業所の評価を実施し、保護者の意向を把握し業務改善につなげています。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>		事業所向け自己評価及び保護者向け評価の結果を保護者に配布すると共に、まちだ子育てサイトにて公開しています。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		<input type="radio"/>	第三者による外部評価は、実施に向けて引き続き言及していきます。

	No.	質問内容	回答		工夫している点、課題や改善すべき点など
			はい	いいえ	
改善業務	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>		職員の資質の向上については、年間を通して計画的に研修の機会を設けています。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	<input type="radio"/>		左記のとおり実施しています。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	<input type="radio"/>		新版K式発達検査2020を使用しています。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	<input type="radio"/>		お子さんの様子や保護者のニーズに合わせた支援内容を設定しています。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	<input type="radio"/>		個々のお子さんの児童発達支援計画に沿った支援を行っています。また、事例検討会を行い、お子さんの支援について職員間で課題解決の検討や支援方針の共有を図っています。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	<input type="radio"/>		活動プログラムについては、療育グループの担当が立案し、係内会議で調整を図ります。行事については、担当制で立案と振り返りを行っています。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	<input type="radio"/>		活動プログラムについては、固定化しないよう定期的な見直しを図っています。お子さんの興味や発達に合わせてプログラムの見直しを行い、意欲的に活動できるプログラムづくりに取り組んでいます。また、他グループと一緒に活動をするなど、それぞれのお子さんに合わせたプログラムの実施にも取り組んでいます。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	<input type="radio"/>		お子さんの発達課題に合わせて、少人数による活動、個別関わり、他グループとの交流を取り入れながら、児童発達支援計画（個別支援計画）を作成しています。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	<input type="radio"/>		左記のとおり実施しています。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	<input type="radio"/>		左記のとおり実施しています。

No.	質問内容	回答		工夫している点、課題や改善すべき点など	
		はい	いいえ		
適切な支援の提供	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につながっているか	○		左記のとおり実施しています。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		6ヶ月に1回以上のモニタリングを行い、児童発達支援計画（個別支援計画）の見直しを行っています。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		必要に応じて担任や関係職員が担当者会議に参加し、情報の共有を図っています。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		必要に応じて各関係機関と連携を図り、支援を行っています。
	23	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○		医療的なケアが必要なお子さん等について、保健、医療、障害福祉、教育等各関係機関と連携を図り、情報共有を行いながら支援を行っています。
	24	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○		医療的ケアが必要なお子さん等については、主治医からの指示書や意見書をもとにケアを行い、主治医や協力医療機関等と連携体制を整えています。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		保護者の承諾を得て、幼稚園・保育園等と連絡を取り合い、情報共有・相互理解を図っています。また、幼稚園・保育園等への入園時は、入園決定後に申し送りを行っています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		就学前に、就学支援シートを作成し、就学前に情報提供を行っています。小学校には通常、連絡会での申し送りを行っています。特別支援学校には、担当者間で直接申し送りを行っています。また、医療的ケアが必要な児童、想定される児童については、就学相談関係者と該当児童の様子の観察や共有を行っています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		障がい虐待防止研修やことばの発達について等の研修を、他の児童発達支援事業所や他機関から講師を招いて開催し受講しています。また、必要に応じて、東京都や他機関主催の研修を受講しています。市内の事業所との連携会議を年2回設け、情報共有をしています。
28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		保育所や認定こども園、幼稚園との交流については、現在再開に向けて慎重に検討中です。今年度も高校生療育体験ボランティアを通して、異年齢の交流を実施しました。	

No.	質問内容	回答		工夫している点、課題や改善すべき点など	
		はい	いいえ		
関係機関や保護者との連携	29	(自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		町田市子ども・子育て会議や子育て支援ネットワーク会議に参加しています。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		「サービスの提供の記録」や親子療育日、療育参加月間などを通して、保護者とお子さんの様子を共有しています。また、必要に応じての面談など相談の機会を設けています。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○		ペアレントプログラム(にこにこプログラム)や保護者研修会を実施しています。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		入園説明会で詳しくお伝えして了解を得ています。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		左記の通り実施しています。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		保護者からの相談には、速やかに対応をしています。グループ担任だけでなく、専門スタッフとも連携しながら助言や支援をする機会を設けています。
	35	ふほかいかつどうしえん、ほごしゃかいとうかいさいとう、ほごしゃどうしれんけいしえん、の連携を支援しているか	○		保護者会や保護者会主催の集会への場所の提供・設定支援を行っています。また、「小学生の保護者を囲んで」をテーマにパネルディスカッション形式の会をセンター主催で実施しました。また、懇談会や保護者の療育参加等、行事を通じて交流の機会を設けています。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		左記のとおり対応しています。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		保護者研修等の子ども発達センター事業や感染症情報については、まちだ子育てサイトで情報発信をしています。今年度から成長療育支援システムHUGで定期的なお便り(週5日通園)や、お知らせ等を配信しています。バスの運休や休園情報、引き渡し訓練、災害時等の一斉送信は、緊急メール配信をしています。

No.	質問内容	回答		工夫している点、課題や改善すべき点など
		はい	いいえ	
保護者への説明責任等	38 個人情報保護の取扱いに十分注意しているか	○		個人情報保護研修を職員全員が受講し、取り扱いには十分に注意しています。
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		お子さん一人ひとりの特性に合わせ、写真カードや実物を用いた「見てわかる」ための配慮等を行っています。また、サービス提供の記録や面談、電話連絡、メール等を通してご家庭と連携を図りながら適切な支援につなげています。 わかりやすい情報発信を行うために、配布物、配信内容については、ふりがなを記載しています。 成長療育支援システムHUGの利用開始に伴い、フルカラーで配信を行っています。
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			夏まつりやサッカー体験等の行事では、子どもセンターまあちの子ども委員会やFC町田ゼルビア、ASV ペスカドーラ町田と協働での取り組みを実施し、地域へ開かれた形で開催しました。 また、高校生療育体験ボランティア事業を通して、地域の高校生が療育に参加する機会を設けました。 今後も地域と協働でインクルーシブ社会の推進を目指した取り組みを行ってまいります。
非常時の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		自然災害や感染症の蔓延等、有事の際でもできる限り最低限のサービスを提供し、事業を継続するための計画を策定しています。 また、自衛消防訓練の年間計画に基づき、定期的に訓練を実施しています。防犯に対しては、今年度も職員を対象に不審者対応訓練を計画しています。感染症についても、マニュアルに基づいて訓練を実施しています。 防犯マニュアルに関しては、引き続き検証を重ねつつ策定に向け準備を進めてまいります。
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		自然災害や感染症の蔓延等、有事の際でもできる限り最低限のサービスを提供し、事業を継続するための計画を策定しています。 自衛消防訓練の年間計画を作成し、地震や火災等を想定した非常災害訓練を毎月実施しています。 非常時使用の物品については、年に2回物品及び有効期限の確認を行っています。
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		左記のとおり実施しています。
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		主治医による指示書（町田市保育施設等における食物アレルギー疾患生活管理指導表）に基づき、完全除去食の対応をしています。
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハットについては、状況の分析と対応について記録をし、ミーティング等において職員全員に周知すると危険予防につなげています。

No.	質問内容	回答		工夫している点、課題や改善すべき点など
		はい	いいえ	
非常時の対応	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	<input type="radio"/>		虐待防止委員会を設置し、虐待防止チェックリストを実施するとともに、職員全員に虐待防止研修を実施しています。
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	<input type="radio"/>		身体拘束の適正化については、委員会を設置し、「身体拘束適正化のための指針」に基づいて決定しています。身体拘束でない支援の可能性を検討した上で、やむを得ない場合のみ保護者の了解を得た上で、子どもの安全を目的とした必要最低限の拘束を実施します。なお、拘束の目的や内容、期限などについては個別支援計画に記載しています。